

令和元年

第3回（9月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	2 番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 移住定住促進に係る事業の現状と見直し策について</p> <p>2012年より移住する世帯での住宅建設などに際して、定住奨励補助金等が支給されている。住宅購入を検討する家族のニーズや、不動産供給状況の変化もあり、移住を検討している家族の実態に補助制度が即していない部分も出てきていると聞く。</p> <p>(1) 定住奨励制度の現状と利用状況はどうか。また、合併浄化槽設置補助など、移住世帯に関してその他どのような住宅関連の補助が設けられているか。</p> <p>(2) 移住希望者向けの「お試し住宅」の利用状況推移と、利用者からの反応はどうか。</p> <p>2. 公衆無線LANなどのインターネット環境整備について</p> <p>現在、あらゆる生活の場面でインターネットの活用が不可欠となっている。しかしながら、本町における公衆無線LANなどのインターネット環境は十分とは言えない。</p> <p>(1) 他市町では、公的機関で公衆無線LAN環境が整備されているが、本庁舎などでの整備の予定は。</p> <p>(2) 観光客が多数訪れるエリアなど、公衆無線LANを環境拡大する考えは。</p> <p>3. 観光事業を柱とした「儲かる波佐見町」に向けた取り組みについて</p> <p>本町は長年にわたって、日用食器の生産拠点として国内外に商品を供給してきた。窯業が市場環境の変化により伸び悩む中、産業としての観光事業に対する期待は年々高まっている。</p> <p>(1) 近年の陶磁器産業の経営状況をどのように捉えているか。また、課題はどうか。</p> <p>(2) 波佐見町を訪れる観光客数及び観光消費額の推移はどうか。</p> <p>(3) 窯業・農業を取り入れた観光事業としての実績は。また、今後の新しい取り組み予定は。</p> <p>(4) 滞在型観光客を増やすために、今後注力すべき宿泊先の整備方針をどう考えるか。</p> <p>(5) 今年度を予定する観光協会のDMO化に向けた進捗状況は。また、来年度以降の予定は。</p>		

(6) 近隣自治体及び民間事業者との観光事業連携について、取り組みの予定は。

質問の相手

町 長

通告順位	2	通 告 者	1 2 番 堀 池 主 男 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 高齢者に対する福祉政策等について</p> <p>全国的に高齢者の交通事故や特殊詐欺による被害が報道されている。高齢者に対する福祉政策等について次の事項を問う。</p> <p>(1) 自動車のアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が全国で相次いでいる。暴走や誤発進を防止するために何か研究、検討などされたことがあるか。</p> <p>(2) 今年度、運転免許証返納奨励品として50万円予算計上されているが、自主返納された方は何人か。また、本人や家族からの相談はあったのか。</p> <p>(3) 特殊詐欺に対する本町と警察、金融機関、コンビニなどとの連携は図られているのか。また、被害防止などの対策はどうなっているのか。</p> <p>(4) 高齢者のみの世帯はどのくらいおられるのか。また、その方々に対する支援は十分できているのか。</p>		
	<p>2. 空き家対策について</p> <p>(1) 平成30年12月現在、148件の空き家があると聞くが、その後の状況はどうなっているか。</p> <p>(2) 特定空き家(危険と判断される物件)は、何件あるのか。あるとしたらその対策は。</p> <p>(3) 空き家改修事業補助金の申請や実績の状況はどうなっているか。</p> <p>(4) 空き家の所有者は全員把握しているのか。また、固定資産税等はどうなっているのか。</p>		
	<p>3. 教育行政について</p> <p>(1) 夏休み明けには不登校の児童・生徒が増えると言われるが、基本的な考えと対応はどうなっているか。</p> <p>(2) 夏休み期間中における、各学校のプールの利用状況と事故等はなかったか。</p> <p>(3) 歩道に草が生えている箇所がある。また、工事のために車が入り出す箇所もあるが、児童・生徒の登下校時の安全対策は万全か。</p>		

質問の相手	町 長、教育長

通告順位	3	通告者	5番 北村 清美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 国の重要文化的景観（国の文化財）について 鬼木・中尾郷両地区を、国の重要文化的景観に3年後申請するとのことであるが、次のことを問う。</p> <p>(1) 農業の鬼木郷、窯業の中尾郷、両地区一体で申請するのか。また、それぞれ単独で申請するのか。</p> <p>(2) 両地区は長崎県の景観資産に登録されている。また、鬼木地区は国の棚田百選にも選ばれているが、国の文化財にも登録されることは、さらにどういうメリットがあるのか。</p> <p>(3) 同じく両地区が登録された後のデメリットは。</p> <p>(4) 申請に対して今後の準備と計画は。</p> <p>2. 職員の働き方改革について 日本的な雇用慣行が崩れてきたうえ、政府が働き方改革の一環として、兼業や副業を後押ししている。また、政府が6月にまとめた「成長戦略実行計画」には「兼業・副業の拡大」が盛り込まれた。そこで、この現状を踏まえ、次のことを問う。</p> <p>(1) 自治体でも職員の副業を推奨する動きがある。社会性や公益性が高い活動ならば、勤務時間外に報酬をもらって取り組むことを認める制度があるが、本町はどうか。</p> <p>(2) 人口減少が進む一方で行政に求められる役割は益々広がっている。本町も地元職員の採用が減っているが、職員には役場に閉じこもらず、地域人としても活躍してほしいが、どうか。</p>		

質問の相手	町 長、教育長

通告順位	4	通告者	3番 横山 聖代 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 『人生100年時代』における町・人づくりについて 今や、少子高齢・人口減少社会から『人生100年時代』と言われるようになった。</p> <p>100年という長い期間をより充実したものにするためには、生涯にわたる学びが重要であり、また、高齢者から若者まで全ての方が元気に活躍し続けられる町、安心して暮らすことのできる町づくりが重要な課題と言える。</p> <p>(1) 高齢者が年齢に関わらず継続して働くための支援はあるか。 (2) 若いときから、将来の資産形成を考えるため、ライフステージ別のセミナーを開催できないか。 (3) 現役時代のスキルや技術を若い世代に教える、本町独自の“学び直し（リカレント）プログラム”は考えられないか。</p> <p>2. 乳幼児・子ども福祉医療制度について 現在、未就学児の福祉医療制度は現物支給である。小学生からは、病院や薬局の窓口で健康保険の自己負担額を支払い、その後、町へ領収書を添付して助成申請を行い、後日、助成金が保護者名義の預金口座へ振り込まれるという手続きがとられている。いわゆる償還払いである。</p> <p>この償還払いは、とても煩雑であり、かつ日数を要し、保護者に負担がかかっている。</p> <p>すべての対象者を現物支給にできないか。</p>		

質問の相手	町 長、教育長

通告順位	5	通告者	6番 脇坂 正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 鴻ノ巣公園の再整備について</p> <p>昭和59年（1984年）に開園した鴻ノ巣公園は、レクリエーションやスポーツ活動、観光の場として、町内外の多くの利用者に親しまれている。しかし、各所に改善の必要も多く、再整備について次の事項を問う。</p> <p>(1) 除草や高木の伐採について</p> <p>(2) 案内板の増設について</p> <p>(3) イベントの際の駐車場不足対策について</p> <p>(4) 野球場後方にある遊具や園路の吸い殻容器の供用について</p> <p>(5) 園内樹木の名板設置について</p> <p>(6) グラウンド西側の排水用調整池の堆積土砂除去について</p> <p>2. 観光行政について</p> <p>平成30年に本町を訪れた観光客数は約105万5千人で、年々増加傾向にあり、本町の産業や経済、文化に及ぼす効果は大きい。</p> <p>今後とも更なる観光客増を図る必要があると思うが、次の事項を問う。</p> <p>(1) 観光客が本町の経済等に及ぼす効果について</p> <p>(2) 外国人観光客の受け入れについて</p> <p>(3) 高速バスの波佐見・有田インターでの停車増について</p> <p>(4) 町観光協会について</p> <p>①観光協会は、本年12月1日に法人化される予定だが、そのメリット、デメリットは何か。</p> <p>②その後、DMO法人化を予定されているが、そのメリット、デメリットは何か。</p> <p>(5) 課の名称を「町商工振興課」から「町商工観光課」に改称できないか。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	6	通告者	1番 福田 勝也 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 観光事業について</p> <p>本町においては、人口15,000人弱に対して、100万人以上の観光客が訪れています。</p> <p>人口比で見ると約70倍となっており、長崎県各市町で最も高い数値となっています。</p> <p>(1) 日帰り客、宿泊客の比率はどのようになっているか。</p> <p>また、お土産、飲食、宿泊等にかかる消費単価は、日帰り客、宿泊客それぞれのくらか。</p> <p>(2) 消費単価の向上を図るためには、宿泊を伴う滞在型の観光客が必要と考えるが、宿泊施設、飲食娯楽施設についてどう考えるか。</p> <p>(3) 「地域産業のツーリズム化」として、現在、農業体験を中心とした「グリーン・クラフト・ツーリズム」が実施されている。具体的にどのような体験観光がなされているのか。また、年間何人の方が利用されているか。</p> <p>(4) 本町の企業において、今回、経済産業省による「令和元年度ローカルクールジャパン推進事業」として、「クラフト・ツーリズム産業」が認定された。具体的な内容とは。また、本町としての展開、展望はどのように考えるか。</p> <p>(5) スポーツが盛んな本町として「スポーツ・ツーリズム」の展開の考えはあるか。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	7	通告者	4番 三石 孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 農業行政について</p> <p>(1) 駄野地区基盤整備事業の進捗状況はどうか。事業のメリットとデメリットは。</p> <p>(2) 駄野地区園芸産地づくり協議会と駄野地区営農検討委員会の違いは何か。</p> <p>(3) 本町の農業を地理的に分類すると、どのような分類ができるか。また、それぞれの面積や営農形態はどうか。</p> <p>(4) それぞれの運営形態での課題は何か。</p> <p>2. 町の財産の取得と処分について</p> <p>(1) 行政財産と普通財産の違いは何か。</p> <p>(2) 財産の取得と処分の方法はどうか。</p>		

質問の相手	町 長